

シラバス参照

科目名	健康管理概論
配当年次	1年次
開講期間	秋学期
単位数	1
担当教員	石倉 恵介(インクラ ケイスケ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 木曜日 3時限 17-402

※	
授業の目的・目標	【授業の概要】:現代を取り巻く社会環境と健康との関係を明らかにした上で、主に疾病(生活習慣病など)および健康の維持増進が、身体活動や運動とどのように関わっているかについて学修する。チーム学修を通して、他者との協働の重要性を理解し、問題を発見し解決する基礎的な能力を高める。正確な情報を収集し、論理的な自己見解を作成し、文章(レポート)と口頭で報告する基礎的な能力を養う。 【授業の目的】:現代を取り巻く社会環境やそこから生じた我が国の健康問題を理解し、我が国の健康づくり施策について理解する 【習得できる力】: ①知識 ②コミュニケーションスキル ⑤論理的思考力 ⑥問題解決力 ⑦自己管理力 ⑧チームワークとリーダーシップ ⑩市民としての社会的責任 ⑪生涯学習力 ⑫課題設定課題解決力 【授業の到達目標】: ①我が国の健康づくり施策、疾病や疾病予防に及ぼす身体活動・運動の影響について理解できるようになる ②テーマから課題を抽出し解決策を考え、相互に議論し、論理的な自己見解を作成し、口頭で発表したり、文章にまとめることができるようになる ③収集する情報について、客観的な視点から見極め、分析して簡単なレポートを作成することができるようになる ⑤授業の到達目標を自己評価することができるようになる 【実務経験と授業内容との関連】:なし 【学部ディプロマポリシーとの関連】:経営学部が公開している「授業と学部DPの対応表」を確認してください。
準備学習等の指示	この授業は1回の授業につき3時間半の準備学習が必要です。 課題の提出は、WEB CLASS等のLMSを用います。
講義スケジュール	■1回目 【テーマ】オリエンテーション 【到達目標】授業の概要を理解できる 【準備学習】我が国の健康問題について調べる ■2回目 【テーマ】健康とは何か 【到達目標】健康の定義を説明できる 【準備学習】健康とは何かについて調べる ■3回目 【テーマ】健康と社会保障制度 【到達目標】我が国の健康づくり施策と社会保障制度のありかたについて説明できる 【準備学習】これまでの我が国の健康づくり施策、社会保障制度について調べる ■4回目【テーマ】健康日本21 【到達目標】健康日本21の概要について説明できる 【準備学習】健康日本21について調べる ■5回目 【テーマ】健康日本21①:次世代の健康 【到達目標】次世代の健康の課題や対策について説明できる 【準備学習】次世代の健康の課題や対策について調べる ■6回目 【テーマ】健康日本21②:高齢者の健康 【到達目標】高齢者の健康の課題や対策について説明できる 【準備学習】高齢者の健康の課題や対策について調べる ■7回目 【テーマ】身体活動基準 【到達目標】身体活動基準2013の概要を説明し、計算できる 【準備学習】身体活動基準2013について調べる ■8回目 【テーマ】健康日本21③:メタボリックシンドローム 【到達目標】メタボリックシンドロームの課題や対策について説明できる

	【準備学習】メタボリックシンドロームの課題や対策について調べる ■9回目 【テーマ】健康日本21⑤: COPD 【到達目標】COPDの課題や対策について説明できる 【準備学習】COPD身体活動・運動の課題や対策について調べる ■10回目 【テーマ】健康経営 【到達目標】健康経営の概要を説明できる 【準備学習】健康経営について調べる ■11回目 【テーマ】プレゼンテーション①: 第1グループ 【到達目標】テーマ(健康管理)について口頭で発表できる 【準備学習】発表時の役割などを事前に打ち合わせする ■12回目 【テーマ】プレゼンテーション②: 第2グループ 【到達目標】テーマ(健康管理)について口頭で発表できる 【準備学習】発表時の役割などを事前に打ち合わせする ■13回目 【テーマ】プレゼンテーション③: 第3グループ 【到達目標】テーマ(健康管理)について口頭で発表できる 【準備学習】発表時の役割などを事前に打ち合わせする
教科書	特になし
参考文献	1. 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ、(公財)日本スポーツ協会 2. 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅱ、(公財)日本スポーツ協会 3. 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅲ、(公財)日本スポーツ協会 4. 健康スポーツ科学, 浅野勝己・田中喜代次編著, 文光堂 5. 運動科学の基礎, G・カーメン編著, 西村書店 6. これからの健康とスポーツの科学, 安部孝, 琉子友男編, 講談社 7. 健康増進科学概論, 今村裕行編, 東京教学社
授業の方法	授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。 ・PBL ・ディスカッション・ディベート ・グループワーク ・プレゼンテーション
成績評価方法	【評価方法】①授業毎のミニレポート, ②レポート, ③プレゼンテーション 【割合】①40%, ②30%, ③30% 【基準】①授業毎のミニレポートの内容, ②レポートの書式・内容, ③発表内容, 作成資料, 報告書 【フィードバック方法】なお、課題等については、全体に向けてコメントします。
オフィスアワー	授業終了後
居室	17号館517
ホームページ	
その他特記事項	【ナンバリング : HSS341J】
添付ファイル	